

TOKYO FOREFRONT PROJECT HANEDA

羽田から東京が変わる

アジア・マーケット

東京湾

多摩川

川崎

大田区

市街地

AIR FRONT

A 羽田の杜

WATER FRONT

- W 親水スポーツ公園
- w2 天空橋プラザ
 - w3 スカイアリーナ
 - w4 ホテル、コンベンション施設

物流を核とした複合業務エリア

研究・開発エリア

東京凌もステージ

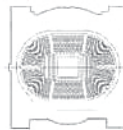
羽田沖の漁礁の整備、水上タクシーなど水上交通の推進で東京凌の魅力を倍增。東京凌の風を感じるライフスタイルを提唱。

- ☐ 親水ゾーン
- ☐ 臨空ゾーン
- ☐ 災害時対応
- ☐ 多様なアクセス



w2 天空橋プラザ

スポーツとアートをテーマにした、にぎわい施設。スポーツ、アウトドア用品のショップ集積、アートビレッジ（デザイナー/アーティストの工房、ベンチャーショップ）、カフェ、レストラン、釣りの記念館など。



w3 スカイアリーナ

18,000人収容のスカイアリーナはスポーツとエンターテインメントの殿堂。災害時には避難場所。

A 羽田の杜



滑走路に隣接した空への憧れと科学のテーマパーク。緩衝緑地に囲まれて、航空宇宙科学館や野外展示、空の広場や展望台を設ける。

また、物流拠点、産学連携の航空産業の研究施設、航空機のショールーム・整備場などの産業利用も。



w4 ホテルとコンベンション施設

空港国際ターミナルと一体化を図って整備。

W 親水スポーツ公園

水辺を生かした市民のうらおいと活動のステージ。新しいスポーツやファッションの発信拠点となる。クラブハウス、観客席とストリートスポーツ、ビーチバレーやバスケットコート、サイクルロード、遊歩道、釣りデッキやビーチ、プールや野外コンサート会場を整備。市街地の近くには、地域イベント用のお祭り広場。



プロジェクト概要

(背景)

羽田空港は沖合移転が完了し、さらに、増加する航空需要と国際化に対応するために第4滑走路、国際ターミナルなどの整備計画が進行している。沖合展開により出現した53haの跡地は、水・陸・空の交通の結節点であると同時に、東京湾と多摩川に接する豊かな水辺空間を持つ恵まれた立地である。多摩川対岸の川崎塩浜地区や海老取川対岸の地域と合わせて有効な再整備が望まれている。特に空港跡地は、大田区の産業や周辺のまちづくりに密接に関係することから従来より調査検討されてきたが、この度大田区の産業界とNPOが中心となり地域の意見を集約して利用計画案にまとめた。

(利用計画)

跡地は大きく、親水ゾーン (WATER FRONT) と臨空ゾーン (AIR FRONT) に分かれ、空の玄関の整備と空港の機能の補完を図るとともに、東京湾や周辺地域と連携して都市の活性化と魅力の創出や、市民の豊かなライフスタイルを実現するステージとなる。

(実現に向けて)

実現についての具体策は、関係者間での十分すり合わせが必要であり地域の議論の範囲を越えるが、次に参考例を示す。1) 土地の所有は、現状の国又は一部が全部が東京都取得する。2) 環状8号線並びに切り直し道路については、国又は東京都が整備する。3) 臨空ゾーンの物流拠点用地や親水ゾーンのホテル・コンベンション用地など全体の土地の一部(20~30%)を売却して全用地のインフラ、内部道路、駐車場、広場等の基盤整備や緑化・修景などの環境整備の負担を行う。4) 計画される施設整備は個々の事業者ごとにバランスする事を旨とし、民間事業者、SPC、大田区などが事業者となる。5) 維持管理は、維持管理会社を設立して委託する。維持管理に係る費用は、商業施設など事業用地の定期借地料や直営事業から捻出する。

羽田跡地利用推進会議

大田観光協会、NPO大田まちづくり委員会、東京商工会議所大田支部、しながわ観光協会、大田ビジネス創造協議会、羽田航空宇宙科学館推進会議 (H) 東京青年会議所第5地区特別委員会大田地区、東京中小企業家同友会大田支部、東京大田倶楽部、羽田青年連合会、羽田緑地守羽田神社守会、羽田商店街振興組合、NPOピボットフット、NPOマグナムカッス、大森青べかマーククラブ、OTSC (大田スケートクルー)、東京湾水上タクシー連絡協議会、ドクターポートセンター、(社)ランドスケープコンサルタンツ協会大田支部、海老取川通河川ネットワーク協議会大田支部、NPO公園レクリエーション協会大田支部、財団法人青少年野外教育財団

03-3731-2603 大田区都市研究室内